

IV 調査結果の要約

I. 第4土曜日の市役所窓口業務開設について

●第4土曜日の窓口業務の開設認知度・利用状況は、「知っている」が3割半（問7）

第4土曜日の窓口業務の開設認知度・利用状況は、「知らない（利用したことがない）」が63.9%、次いで「知っているが、利用したことがない」が30.0%、「知っていて、利用したことがある」が5.3%の順となっている。

“知っている”（「知っているが、利用したことがない」＋「知っていて、利用したことがある」）は35.3%となっている。

●今後の第4土曜日の窓口業務の開設の良否は、「開設したほうが良い」が8割弱（問8）

今後の第4土曜日の窓口業務の開設の良否は、「開設したほうが良い」が79.8%、「開設しなくても良い」が18.3%となっており、前者は後者の約4倍となっている。

●第4土曜日の窓口業務の開設を希望する理由は、「平日は仕事や学校で行けないから」が6割弱（問8-1.複数回答）

第4土曜日の窓口業務の開設を希望する理由は、「平日は仕事や学業で行けないから」が58.4%、次いで「サービスセンター、サービスコーナーでは土曜日に窓口業務をやっていないから」が36.0%、「開庁時間では利用しにくいから」が21.5%の順となっている。

●市役所を利用しやすい時間帯は、「現在の開庁時間でよい」が4割弱（問9）

市役所を利用しやすい時間帯は、「現在の開庁時間（平日の午前9時～午後5時30分）でよい」が38.9%、次いで「平日の時間延長」が17.6%、「土曜日の午前」が15.5%の順となっている。

II. 公共施設の利用状況と今後について

●公共施設の過去1年間の利用状況で「利用した」が高い公共施設は、『図書館』が3割強（問10）

公共施設の過去1年間の利用状況で「利用した」が高い公共施設は、『図書館』が32.7%、『福祉事務所・老人センター・保健センター』で25.1%、『市民会館・文化会館』で20.4%の順となっている。

●公共施設の建替・改修費用抑制の方法は、「施設の量を減らし、維持管理費や建替・改修費用を削減する」が5割弱（問11）

公共施設の建替・改修費用抑制の方法は、「施設の量を減らし、維持管理費や建替・改修費用を削減する」が49.7%、次いで「施設の長寿命化を図り、建替・改修費用を軽減する」が18.1%、「建替・改修の工事費用の削減を行う」が10.7%の順となっている。

●統廃合すべきだと思う公共施設は、「一部の個人や団体にしか使われてなく、利用者が少ない施設」が5割強（問12）

統廃合すべきだと思う公共施設は、「一部の個人や団体にしか使われてなく、利用者が少ない施設」が52.3%、次いで「市民ニーズに合っていない施設」が18.9%、「公共性の低い（民間運営できる）施設」が14.9%の順となっている。

●維持・充実を図っていくべきだと思う公共施設は、「福祉事務所・老人センター・保健センター」が6割強（問13.複数回答）

維持充実を図っていくべきだと思う公共施設は、「福祉事務所・老人センター・保健センター」が63.3%、次いで「図書館」が49.7%、「市民会館・文化会館」が24.0%の順となっている。

●公共施設の利用料上乘せの必要性は、「維持できないなら、施設をできるだけ減らしたほうがよい」が5割弱（問14）

公共施設の利用料上乘せの必要性は、「維持できないなら、施設をできるだけ減らしたほうがよい」が46.3%、次いで「利用者の負担が増えることはやむを得ない」が24.7%、「費用は市と市民で折半すべきである」が8.7%の順となっている。

Ⅲ. 文化芸術の意識や関わり、要望について

●興味のある本市の文化的資源は、「公園・緑地・河川」が7割弱（問 15(1). 複数回答）

興味のある本市の文化的資源は、「公園・緑地・河川」が68.2%、次いで「神社や寺院など」が45.1%、「史跡など」が30.8%の順になっている。

●興味のある本市の文化的活動は、「美術（絵画、書道、写真、陶器など）」が4割強（問 15 (2). 複数回答）

興味のある本市の文化的活動は、「美術（絵画、書道、写真、陶器など）」が41.8%、次いで「地域文化（伝統行事、歴史研究など）」が36.7%、「音楽（楽器演奏、コーラスなど）」が32.7%の順となっている。

●市内の文化施設の認知度・利用状況は、「訪れたことがある」が『児童文化スポーツセンター（ドリーム21）』で4割強（問 16）

市内の文化施設の認知度・利用状況は、「訪れたことがある」が『児童文化スポーツセンター（ドリーム21）』で44.3%、「知っているが、訪れたことがない」が『司馬遼太郎記念館』で67.2%、「知らない」が70%以上の施設は、『宮本順三記念館（豆玩舎ZUNZO）』で78.7%、『旧河澄家』で74.7%、『埋蔵文化財センター』で70.2%となっている。

●文化振興のために望む市の取組みは、「音楽や演劇などの鑑賞機会の充実」が4割弱（問 17. 複数回答）

文化振興のために望む市の取組みは、「音楽や演劇などの鑑賞機会の充実」が36.1%、次いで「子ども向け文化情報提供の充実」が32.6%、「文化フェスティバル（仮称）の開催」が23.2%の順となっている。

IV. 「男女共同参画センター・イコーラム」について

●「男女共同参画センター・イコーラム」の認知度は、「知っている」が3割弱（問 18）

「男女共同参画センター・イコーラム」の認知度は、「知っている」が26.5%、「知らない」が71.7%となっている。

●「男女共同参画センター・イコーラム」を知っている人の認知した情報の入手先は、「市政だより」が7割強（問 18-1. 複数回答）

「男女共同参画センター・イコーラム」を知っている人の認知した情報の入手先は、「市政だより」が72.4%、次いで「講座・イベントなどのチラシ」が26.3%、「家族・知人」が13.8%の順となっている。

●「男女共同参画センター・イコーラム」を知っている人の施設の利用状況は、「行ったことがある」が3割弱（問 18-2）

「男女共同参画センター・イコーラム」を知っている人の施設の利用状況は、「行ったことがない」が65.8%、「行ったことがある」が29.1%となっている。

●「男女共同参画センター・イコーラム」を知っている人の事業認知状況は、「男女共同参画に関する実践的な講座で講演会の開催」が4割弱（問 18-3. 複数回答）

「男女共同参画センター・イコーラム」を知っている人の事業認知状況は、「男女共同参画に関する実践的な講座や講演会の開催」が37.5%、次いで「ホール・研修室・学習室などの貸し室」が35.2%、「女性のさまざまな悩みに対する電話や面接相談の実施」が21.9%、「フリースペースなど気軽に交流できる場の提供」が21.7%の順となっている。

●「男女共同参画センター・イコーラム」に期待するサービス・役割は、「再就職・起業に役立つ知識が学べるセミナー」が4割弱（問 19. 複数回答）

「男女共同参画センター・イコーラム」に期待するサービス・役割は、「再就職・起業に役立つ知識が学べるセミナー」が37.8%、次いで「ボランティアや人材を育成する講座」が25.5%、「女性のさまざまな悩みに応える相談窓口」が20.1%の順となっている。

●情報紙「HOW」の認知度・閲読状況は、「知っている」が1割半（問 20）

情報紙「HOW」の認知度・閲読状況は、「知っているが、ほとんど読まない」が7.3%、次いで「知っていて、時々読んでいる」が7.0%、「知っていて、よく読んでいる」が1.1%の順となっている。“知っている”（上記3つの合計）は15.4%となっている。

V. 協働のまちづくりについて

●市民活動や地域活動への参加の有無は、「参加したことがない」が「参加したことがある」の約3倍（問21）

市民活動や地域活動への参加の有無は、「参加したことがない」が74.3%、「参加したことがある」が24.2%となっており、前者は後者の約3倍となっている。

●子どもの健全育成を図る活動は、「PTAや青少年活動として参加している（いた）」が4割弱（問21-1-1. 複数回答）

子どもの健全育成を図る活動は、「PTAや青少年活動として参加している（いた）」が39.7%、次いで「自治会の活動で参加している（いた）」が33.8%、「その他いろいろな団体で参加している（いた）」が9.8%の順となっている。

●環境の保全を図る活動は、「自治会の活動で参加している（いた）」が5割弱（問21-1-2. 複数回答）

環境の保全を図る活動は「自治会の活動で参加している（いた）」が48.3%、次いで「PTAや青少年活動として参加している（いた）」が15.6%、「その他色々な団体で参加している（いた）」が5.9%の順となっている。

●まちづくりの推進を図る活動は、「自治会の活動で参加している（いた）」が2割弱（問21-1-3. 複数回答）

まちづくりの推進を図る活動は、「自治会の活動で参加している（いた）」が18.7%、次いで「PTAや青少年活動として参加している（いた）」が9.2%、「その他色々な団体で参加している（いた）」が7.3%の順となっている。

●保健、医療又は福祉の増進を図る活動は、「自治会の活動で参加している（いた）」が1割弱（問21-1-4. 複数回答）

保健、医療又は福祉の増進を図る活動は、「自治会の活動で参加している（いた）」が7.0%、次いで「その他色々な団体で参加している（いた）」が4.2%、「ボランティアやNPOの活動として参加している（いた）」「PTAや青少年活動として参加している（いた）」が同率で3.1%の順となっている。

●地域安全活動は、「自治会の活動で参加している（いた）」が2割強（問21-1-5. 複数回答）

地域安全活動は、「自治会の活動で参加している（いた）」が23.7%、次いで「PTAや青少年活動として参加している（いた）」が17.3%、「その他色々な団体で参加している（いた）」が4.8%の順となっている。

●**学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動は、「PTAや青少年活動として参加している(いた)」が1割強(問21-1-6. 複数回答)**

学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動は、「PTAや青少年活動として参加している(いた)」が13.4%、次いで「その他色々な団体で参加している(いた)」が9.5%、「自治会の活動で参加している(いた)」が8.9%の順となっている。

●**社会教育の推進を図る活動は、「PTAや青少年活動として参加している(いた)」が1割弱(問21-1-7. 複数回答)**

社会教育の推進を図る活動は、「PTAや青少年活動として参加している(いた)」が8.4%、次いで「自治会の活動で参加している(いた)」が4.5%、「ボランティアやNPOの活動として参加している(いた)」「その他色々な団体で参加している(いた)」が同率で1.4%の順となっている。

●**人権の擁護又は平和の推進を図る活動は、「その他色々な団体で参加している(いた)」が0.5割(問21-1-8. 複数回答)**

人権の擁護又は平和の推進を図る活動は、「その他色々な団体で参加している(いた)」が5.0%、次いで「PTAや青少年活動として参加している(いた)」が3.4%、「自治会の活動で参加している(いた)」が2.2%の順となっている。

●**災害救援活動は、「自治会の活動で参加している(いた)」が1割半(問21-1-9. 複数回答)**

災害救援活動は、「自治会の活動で参加している(いた)」が15.6%、次いで「PTAや青少年活動として参加していた(いる)」が6.4%、「その他色々な団体で参加している(いた)」が3.4%の順となっている。

●**地域活動に参加するようになったきっかけは、「地域の自治会の方に誘われて」が6割弱(問21-2. 複数回答)**

地域活動に参加するようになったきっかけは、「地域の自治会の方に誘われて」が57.3%、次いで「学校の課外活動として」が26.3%、「団体や施設などの呼びかけに応じて」が18.7%の順となっている。

●**地域活動に参加したことがない人の主な理由は、「参加する時間がない」が4割強(問21-3. 複数回答)**

地域活動に参加したことがない人の主な理由は、「参加する時間がない」が42.7%、次いで「きっかけがない」が39.6%、「活動に関する情報が得られない」が36.1%の順となっている。

●**地域活動に参加したことがない人が参加したいと思う条件は、「時間の余裕がある」が5割弱(問21-4. 複数回答)**

地域活動に参加したことがない人が参加したいと思う条件は、「時間の余裕がある」が49.8%、次いで「活動に関する情報が得られる」が36.7%、「金銭的負担がない」が35.7%の順となっている。

VI. 消費生活センターについて

●消費生活センターの認知度・利用状況は、「知っているが、利用したことがない」が6割弱（問22）

消費生活センターの認知度・利用状況は、「知っているが、利用したことがない」が59.8%、次いで「知らない」が28.6%、「知っていて、利用したことがある」が8.6%の順となっている。

“知っている”（「知っているが、利用したことがない」＋「知っていて、利用したことがある」）は、68.4%となっている。

●消費生活センターを知っている人の認知方法は、「東大阪市の広報紙（市政だよりなど）」が7割弱（問22-1. 複数回答）

消費生活センターを知っている人の認知方法は、「東大阪市の広報紙（市政だよりなど）」が66.3%、次いで「家族、知人、友人」が19.2%、「東大阪市のホームページ」が10.1%の順となっている。

●消費生活センターを知っていて利用したことがある人の利用目的は、「消費生活に関する相談を受けるため」が7割弱（問22-2. 複数回答）

消費生活センターを知っていて利用したことがある人の利用目的は、「消費生活に関する相談を受けるため」が69.3%、次いで「消費生活情報などの収集のため」が9.4%、「消費生活展に参加するため」が6.3%の順となっている。

●「暮らしのスクラム」の認知度・閲読状況は、「知らない」が7割強（問23）

「暮らしのスクラム」の認知度・閲読状況は、「知らない」が72.7%、次いで「知っているが、ほとんど読まない」が10.6%、「知っていて、時々読んでいる」が10.5%の順となっている。“知っている”（「知っていて、よく読んでいる」＋「知っていて、時々読んでいる人」＋「知っているが、ほとんど読まない」）は22.7%となっている。

●悪質商法の被害状況は、「被害にあったことがある」が1割弱（問24）

悪質商法の被害状況は、「被害にあったことはない」が69.5%、次いで「被害にあいそうになったことがある」が18.8%、「被害にあったことがある」が8.2%の順となっている。

●被害にあったり、あいそうになった悪質商法は、「点検商法」が3割弱（問24-1. 複数回答）

被害にあったり、あいそうになった悪質商法は、「点検商法（屋根・床下工事、耐震工事、浄水器・ふとん、修理サービスなど点検を口実に家にあがり込み、商品やサービスを契約させる。）」が27.3%、次いで「ワンクリック請求（インターネット、携帯メールによる身に覚えのない不当請求）」が22.0%、「マルチ商法（健康商品、化粧品、商品等の販売員となり、商品を誰かに販売すれば高収入になると勧誘し、契約させる。）」が17.0%の順となっている。

●悪質商法の被害にあったり、あいそうになった時の対処は、「家族に相談した」が4割弱（問 24-2. 複数回答）

悪質商法の被害にあったり、あいそうになった時の対処は、「家族に相談した」が37.5%、次いで「誰にも相談しなかった」が25.3%、「知人・友人に相談した」が19.5%の順となっている。

Ⅶ. 温室効果ガスや有害物質の削減について

●自動車のアイドリングストップ実施状況は、6割強が前向き（問 25（1））

自動車のアイドリングストップ実施状況は、「行っている」（19.2%）と「努力している」（32.3%）の合計が51.5%で「これから行いたい」（9.9%）を加えると61.4%が前向きとなっている。一方、「あまり関心はない」も17.6%と約2割弱となっている。

●短距離の移動での自家用車使用抑制状況は、約7割が前向き（問 25（2））

短距離の移動での自家用車使用抑制状況は、「行っている」（31.3%）と「努力している」（32.2%）の合計が63.5%で「これから行いたい」（7.0%）を加えると70.5%は前向きとなっている。一方、「あまり関心はない」も12.0%と約1割強となっている。

●クリーンエネルギー自動車導入についての考えは、“導入意向”が5割弱（問 26）

クリーンエネルギー自動車導入についての考えは、「今後導入を検討してみたい」が37.5%、次いで「導入は難しい」が35.9%、「導入を予定、もしくは検討している」が4.6%、「すでに導入している」が4.2%の順となっている。“導入意向”（「すでに導入している」＋「導入を予定、もしくは検討している」＋「今後導入を検討してみたい」）は、46.3%となっている。

●カーシェアリングやレンタカー利用についての考えは、“利用意向”が2割強（問 27）

カーシェアリングやレンタカー利用についての考えは、「利用は難しい」が34.8%、次いで「わからない」が27.0%、「今後利用を検討してみたい」が16.0%の順となっている。“利用意向”（「すでに利用している」＋「利用予定、もしくは検討している」＋「今後利用を検討してみたい」）は21.1%となっている。